



日本赤十字社茨城県支部

# 赤十字ボランティア通信

## 「安全奉仕団」が結成

安全奉仕団は、救急法奉仕団、水上安全法奉仕団、幼児安全法奉仕団の発展的な解散後、赤十字講習（救急法、水上安全法、幼児安全法、健康生活支援講習）指導員 113 名により、令和 2 年 5 月 30 日に新たな赤十字奉仕団として結成されました。活動は、茨城県支部事業への協力や赤十字講習の普及、指導員の技術、指導力向上の研修会並びに団員相互の親睦を図るための行事等を開催します。

コロナ禍で迎えた初年度は、感染防止の観点から、講習指導の機会は減ってしまいましたが、これまで同様、新たな奉仕団、赤十字ボランティアとして、人間のいのちと健康、尊厳を守る救急法等の普及活動に取り組んでまいります。



安全奉仕団役員（下段左から 2 番目が平塚一委員長）



三密を避けて幼児への心肺蘇生を指導する奉仕団員

## コロナ禍での奉仕団活動

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、各種行事やイベントなどの中止や延期を余儀なくされている現在、今だからこそ生まれた地域のニーズに応えた活動や、感染予防を徹底したうえでの防災活動など地域奉仕団の活動を紹介します。

奉仕団名	コロナ禍での活動
筑西市	市民団体活動パネル展にて、日赤の活動を紹介するパネルを出展。
北茨城市ほか (5 市町村)	マスクやガウンなどを作成し、市町村の福祉施設等に寄贈。
常総市	感染予防ガイドを児童福祉施設に配布。
高萩市	新聞紙スリッパやビニール袋のカップづくりなど、災害時に役立つ研修を実施。

今だからできることに「気づき、考え、実行する」自主性が、県内の赤十字活動を支えています。



筑西市奉仕団が出展したパネル

## 「赤十字奉仕団基礎研修会」を開催

令和2年10月23日・28日、当支部で会場に基礎研修会を開催し、延べ70名の奉仕団員にご参加いただきました。今年度は、コロナ禍での開催のため、参加者の健康チェックや会場内のソーシャルディスタンスの確保など感染防止対策を徹底し、参加人数の制限や研修時間を短縮した形式で行いました。

研修内容は、赤十字について学ぶ講義のほか、新型コロナウイルス感染症関連の活動報告を実施しました。

受講者から「短時間での集中した研修だったので良かった」などのご感想をいただきました。



## 「奉仕団中央委員会」をオンラインで開催

令和2年12月3日、全国から奉仕団の代表者が集う奉仕団中央委員会がオンラインで開催され、当支部から支部委員会委員長の有田さんが参加しました。

委員会では、全国のコロナ禍での奉仕団活動について事例報告があったほか、今後の活動について意見交換が行われました。

また、「ボランティア活動充実のための体制作り検討会」の報告があり、本社から、「活動内容の集約と配信」、「研修の充実」、「支部指導講師の活動の推進」の3つの分野に取り組む方針が示されました。

## 「防災ボランティアリーダー」を養成

令和3年1月16日、オンラインで行われた本社主催の防災ボランティアリーダー養成研修会に、当支部から日赤神栖市地区防災ボランティア地区リーダーの井上さんが参加し、このたび防災ボランティアリーダーとして登録されました。

今後、井上さんはリーダーとして、災害時のボランティア活動を効果的かつ、円滑に進めるコーディネーターの役割を担うこととなります。

当支部では、現在、5名のリーダーと43名の地区リーダーが防災ボランティアとして登録されており、災害時の支援活動のほか、災害に備えた研修会に参加し、研鑽を積んでおります。



茨城県支部の赤十字活動は、  
SNSでも紹介しています



発行

 日本赤十字社 茨城県支部  
Japanese Red Cross Society

所在地：水戸市小吹町 2551 / 電話：029-241-4516